

# 「官民連携 水道管理を」

グローバルウォータ 吉村代表が講演 熊日情文懇

熊日情報文化懇話会（会長・河村邦比克熊日社長）の2月例会が26日、熊本市中央区の

ホテル日航熊本であり、グローバルウォータ・ジャパン（千葉県）の吉村和就代表（70）が「水に流せない水の話」今、日本の水が危ない」と題して講演。人口減社会を迎えた日

本の水道事業は「官民連携による管理が必須」と強調した。吉村氏は国連本部などに勤務し、アジアの水インフラ普及に携わってきた。講演では、日本の水道事業を「衛生状態は世界一」と評しつつ、「人口減少

で全国の料金収入は年間200億円減っている。一方で施設の老朽化や技術職員の高齢化もある。このままで今の水準を保つのは難しい」と指摘した。有効な対策には、運営権を民間に売却する「コンセッション方式」を挙げ、同方式を採用した宮城県

にする改正水道法は「運営状況を監督する第三者機関の設置が義務付けられていない」と課題も指摘した。海外の水事情にも触れ、「アジアやアフリカなど途上国の水需要が急増しており、世界的には水不足に直面している」と警告した。

（志賀菜里耶）



グローバルウォータ・ジャパン代表の吉村和就氏（円内）が講演した熊日情報文化懇話会2月例会＝26日、熊本市